

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2019年度)

専門分野区分	簿記会計	科目名	商業簿記Ⅱ	科目コード	T1790B1
配当期	前期・後期・通年	授業実施形態	通常・集中	単位数	2単位
担当教員名	※希望により 氏名未記載	履修グループ	2I(BI/BO)	授業 方法	講義
実務経験の内容	経営コンサルティング事務所代表として、18年間にわたり携わった経営企画及び経営管理等の指導経験を活かして、商業簿記について実務で活用できるように講義する。				
学習一般目標	財務会計はビジネス・パーソン必須の知識です。その礎となる簿記は、財務諸表（損益計算書・貸借対照表等）を作成する手段であり、経営活動を詳細に理解するうえで、極めて重要な活動といえます。本授業では、日本商工会議所主催の日商簿記2級（商業簿記）の基礎から応用レベルの知識を修得し、実務で活用できることを目指します。				
授業の概要 および学習上 の助言	商業簿記の対象となる経営活動について説明します。 個々の経営活動に対応する仕訳の方法について説明します。 問題演習を通じて応用レベルまで解説します。				
教科書および 参考書	「サクッとわかる日商2級 テキスト商業簿記」ネットスクール出版				
履修に必要な 予備知識や 技能	商業簿記Ⅰの授業内容を見直しておきましょう。				
使用機器	電卓				
使用ソフト	—				
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が達成すべき行動目標			
	1・2	現金・預金・手形・有価証券に関する仕訳ができる。			
	1・2	固定資産・商品売買・株式発行・税金・引当金に関する仕訳ができる。			
	1・2	決算手続きができる。			
	1・2	本支店会計・伝票会計・外貨建取引・リース取引等に関する仕訳ができる。			
	1・2	連結会計・税効果会計等に関する仕訳ができる。			

達成度評価	評価方法	試験	クイズ 小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計	
	総合評価割合		50	10					40	100
	学部 D P	1.知識・理解	30	10						40
		2.思考・判断	20							20
		3.態度							20	20
		4.技能・表現								
		5.関心・意欲							20	20
評価の要点	評価方法	評価の実施方法と注意点								
	試験	定期試験期間中に試験を行います。								
	クイズ 小テスト	授業期間中に小テストを行います。								
	レポート									
	成果発表 (口頭・実技)									
	作品									
	ポートフォリオ									
	その他	授業態度（集中して授業を受けているか）及び授業参加（積極的に発言しているか）により評価します。								

◇授業で作成したレポートやワークシートについて、クラス担任やキャリア支援課からの要請があった場合は、学生への効果的な進路指導等に活かすため、共有する場合があります。

## 授業明細表

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1週 4/12	簿記の本質 第1章 現金と預金 1節	講義 問題演習	誤答した問題の再確認
第2週 4/26	第2章 商品売買 2～6節	講義 問題演習	誤答した問題の再確認
第3週 5/10	第3章 手形、その他の債券・債務 7～13節	講義 問題演習	誤答した問題の再確認
第4週 5/17	第4章 固定資産 14～22節	講義 問題演習	誤答した問題の再確認
第5週 5/24	第5章 有価証券 23～28節	講義 問題演習	誤答した問題の再確認
第6週 5/31	第6章 外貨建取引 29節	講義 問題演習	誤答した問題の再確認
第7週 6/7	第7章 引当金 30～31節 第8章 純資産会計 32～36節	講義 問題演習	誤答した問題の再確認
第8週 6/14	第9章 税金の仕組みと処理 37～40節	講義 問題演習	誤答した問題の再確認
第9週 6/21	第10章 仕訳集計表 41～42節	講義 問題演習	誤答した問題の再確認
第10週 6/28	第11章 決算手続きと精算表 43～45節	講義 問題演習	誤答した問題の再確認
第11週 7/5	第12章 月次決算 46節 第13章 本支店会計 47～48節	講義 問題演習	誤答した問題の再確認
第12週 7/12	第14章 連結会計 49～50節	講義 問題演習	誤答した問題の再確認
第13週 7/19	第14章 連結会計 51～53節	講義 問題演習	誤答した問題の再確認
第14週 7/24	第15章 製造業の決算 54～55節	講義 問題演習	誤答した問題の再確認